



こつずい 骨髄バンクがあるのはなぜ

こつずい 骨髄バンクは、こつずい ていきょうしゃ とうるく 骨髄の提供者の登録をしておく

こつずい 骨髄というのは、ほね なか 組織で、せつけっきゅう はつけっきゅう 赤血球 や 白血球 などの、けつえき 血液の成分をつくる、じゅうよう 重要なはたらきをしている器官です。

はつけつびょう けつえき 白血病 (血液のがん) などの病気で、やくひん ほうしゃせん 放射線 を使って、こつずいさいぼう 骨髄細胞がゼロになるくらの、ち 治りょうを 行ったときには、あとで、こつずいさいぼう 骨髄細胞をおぎなっておかないと、けつえき 血液が つかれず、ほかの病気にかかったり、死んでしまったりすることがあります。

そのため、ち 治りょうを 行ったあとで、こつずいさいぼう えき 骨髄細胞 (液) を、かん者の 動脈 に入れておぎなうことを、こつずいしよく 骨髄移植 といいます。そして、こつずいしよく 骨髄移植のための 骨髄をくれる人 (提供者) を登録 しておく組織が「こつずい 骨髄バンク (こつずいしよくすいしんざいだん 骨髄移植推進財団)」で、ねん 1991年 がつ 12月 に設立され、ねん 1992年 がつ 1月 から、ていきょうしゃ とうるく 提供者の登録が始まりました。

こつずい 骨髄バンクで、エイチエルエイ あ ひと HLA が合う人をさがす

こつずいしよく 骨髄移植には、じゃじしん かん者自身の 骨髄を、つか 保存しておいて使う場合と、かん者の 身内の人の 骨髄を使う場合と、みうちいがい 身内以外の、まったく 他人の 骨髄を使う場合とがあります。

しかし、かん者以外の人の 骨髄を使うときには、かん者と 骨髄の 提供者 との、エイチエルエイ HLA という はつけっきゅう 白血球 の型の一つが、あ 合わなければなりません。

しかし、エイチエルエイ HLA が合うのは、みうち 身内の人で 4 ~ 5 人に一人、みうちいがい 身内以外の人では すうひゃくまん 数百万 ~ すうまんにん 数万人に一人といわれており、みうち 身内の人に エイチエルエイ HLA が合う人がいない場合が約 70 パーセントもあるため、ほとんどの場合、みうちいがい 身内以外の人から、エイチエルエイ HLA が合う人をさがさなければなりません。そのためにできたのが「こつずい 骨髄バンク」なのです。(監修・保志 宏)

